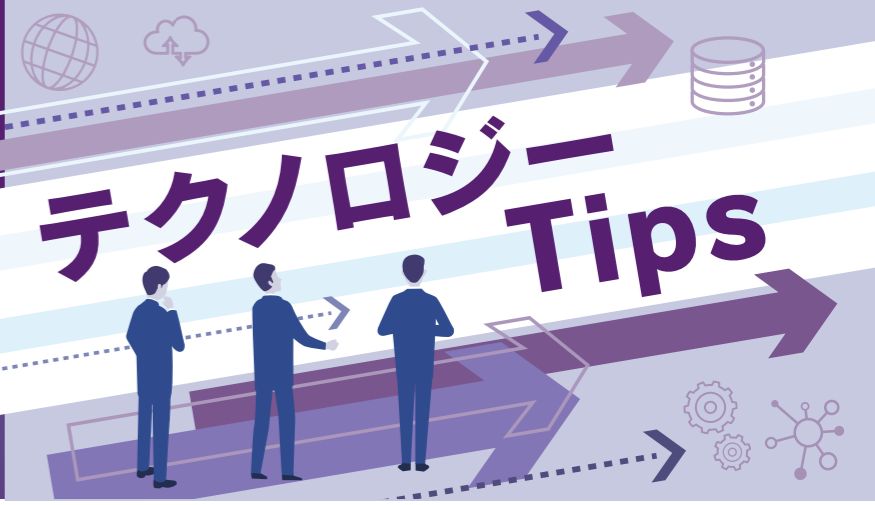




2026年度末、新制度スタート!(予定)今年のうちに備えておきませんか?

「SECURITY ACTION」と「サプライチェーンセキュリティ対策評価制度」強化に向けた

セキュリティ対策は「コスト」ではなく「投資」。会社の信用を高め、ビジネスを加速・拡大するために不可欠な経営基盤です。



テクノロジー Tips

1. いま、なぜセキュリティ対策が重要なのか

セキュリティ対策? ウィルス対策ソフトは入れているし、大丈夫でしょ
——そう思っている方も多いかもかもしれません。

しかし近年、サイバー攻撃の標的は大企業だけではなくなっています。むしろ、セキュリティ対策が手薄な中小企業を「踏み台」にして、取引先の大企業に侵入する「サプライチェーン攻撃」が急増しています。IPAが発表した「情報セキュリティ10大脅威 2025」でも、サプライチェーンや委託先を狙った攻撃が第2位にランクインしています。つまり、自社が攻撃されるだけでなく、**取引先に迷惑をかけ、信用を失い、取引そのものを失うリスク**があるのです。こうした背景から、国は中小企業のセキュリティ対策を底上げするための制度整備を急速に進めています。今回は、すでに運用されている「SECURITY ACTION」と、来年度末に開始予定の新制度「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度(SCS評価制度)」について、基本からわかりやすく解説します。



2. SECURITY ACTION(セキュリティアクション)とは?

SECURITY ACTIONは、IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が実施している**中小企業向けの情報セキュリティ自己宣言制度**です。

ここで大切なポイントは、これは「認証」や「審査に合格する」制度ではないということ。「**自社はセキュリティ対策に取り組みます**」と**自ら宣言する制度**です。IPAも「認定を受けた」「取得した」ではなく、「**宣言しました**」が正しい表現と案内しています。「**何から始めればいいのかわからない**」という中小企業が、最初の一步を踏み出すための入口として設けられており、2017年の開始以来、宣言事業者数は40万件を超えています。2026年4月からは新しい管理システム「SECURITY ACTION管理システム」が稼働し、申込には**GビジネスIDプライムまたはメンバー**が必須になりました。まだ取得されていない方は、早めの準備をおすすめします。



【公式サイトURL参照】<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

3. ★一つ星と★★二つ星 ~何が違う?~

★一つ星は、IPAが示す「**情報セキュリティ6か条**」に取り組むことを宣言する段階です。対策が完璧にできていなくても、「これからきちんと取り組む」という段階で申し込みます。

情報セキュリティ6か条

- ①OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう
- ②ウイルス対策ソフトを導入しよう
- ③パスワードを強化しよう
- ④共有設定を見直そう
- ⑤脅威や攻撃の手口を知ろう
- ⑥バックアップを取ろう

要するに、「**更新する・守る・強くする・見直す・知る・備える**」という基本です。特別なシステム導入は不要で、今日から始められます。

★★二つ星は一歩進んだ段階です。IPAの「**5分でできる!情報セキュリティ自社診断**」(25項目)で自社の状況を確認し、さらに「**情報セキュリティ基本方針**」を策定して**外部に公開**した上で宣言します。

【出典】IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

★一つ星が「担当者レベルの意識づけ」だとすれば、★★二つ星は「**会社としての取り組み**」に変わる段階です。取引先や顧客に対して「**うちはきちんとやっています**」と**具体的に示せる**ようになります。

4. 新制度「SCS評価制度」とは? ~★3・★4・★5の世界~

経済産業省は、2026年度末ごろの運用開始を目指して「**サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度(SCS評価制度)**」の準備を進めています。

この制度では、企業のセキュリティ対策レベルを★3・★4・★5で評価します。★1・★2ではなく★3から始まるのは、すでにSECURITY ACTIONの★1・★2が存在しているから。つまり、SECURITY ACTIONの「次の段階」として設計されています。

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| すべてのサプライチェーン企業が最低限満たすべき水準 / | 標準的に目指すべき水準 / | 到達目標となる高度な水準 / |
| ★3(Basic) 専門家確認付きの自己評価で取得(25項目) | ★4(Standard) 第三者評価(技術検証を含む)で取得(44項目) | ★5 第三者評価で取得(詳細は今後検討中) |

特に注目すべきは、SCS評価制度の開始後、**発注者が受注者に★の取得を取引条件として求めることができる**という点です。経済産業省の担当者も「2社間取引において、発注者が受注者に★3あるいは★4の取得を条件にできる」と説明しています。さらに、**★を取得した企業は制度事務局のWebページ等で公開される仕組み**が構築される予定です。つまり、★を持っている企業・持っていない企業が、取引先や市場から**一目でわかる時代**が来るのです。

| 成熟度の定義 | 三つ星(★3) | 四つ星(★4) | 五つ星(★5)※ |
|------------|---|---|---|
| 想定される脅威 | ● 広く認知された脆弱性等を悪用する一般的なサイバー攻撃 | ● 供給停止等によりサプライチェーンに大きな影響をもたらす企業への攻撃 ● 機密情報等、情報漏えいにより大きな影響をもたらす資産への攻撃 | ● 未知の攻撃も含めた、高度なサイバー攻撃 |
| 対策の基本的な考え方 | 全てのサプライチェーン企業が最低限実装すべきセキュリティ対策 ● 基礎的な組織的対策とシステム防御策を中心に実施 | サプライチェーン企業等が標準的に目指すべきセキュリティ対策 ● 組織ガバナンス・取引先管理、システム防御・検知、インシデント対応等包括的な対策を実施 | サプライチェーン企業等が到達点として目指すべき対策 ● 国際規格等におけるリスクベースの考え方にに基づき、自組織に必要な改善プロセスを整備した上で、システムに対しては現時点でのベストプラクティスに基づく対策を実施 |
| 評価スキーム | 専門家確認付き自己評価 | 第三者評価 | 第三者評価 |

※ISMS適合性評価制度との制度的整合性、★3・4との整合性も踏まえ、対策事項を検討

5. ★1・★2と★3以上はどうつながる？ ～「階段」で理解する～

ここが今回の最も大切なポイントです。

【出典】経済産業省

新制度が始まるからといって、SECURITY ACTIONが不要になるわけではありません。むしろ逆に、★1・★2が土台であり、その上に★3・★4・★5が乗るといった構造です。



イメージとしては、こんな「階段」です。

【2段目】★2 会社として方針を持ち、外部に公開する(自己宣言)

【3段目】★3 最低限の対策を専門家確認付きで証明する

【4段目】★4 標準的な対策を第三者が評価する

【5段目】★5 高度な対策レベルに到達する

ここからがSCS評価制度(経済産業省)

ここまでがSECURITY ACTION(IPA)

【1段目】★1 まず基本を意識する(自己宣言)

経済産業省も、新制度の中間取りまとめにおいて「先行する自己評価制度の仕組みであるSECURITY ACTIONにて一つ星、二つ星の区分を設けているため、★3からの区分としている」と明記しています。つまり、**今年のうちに★1・★2をしっかりと進めておくことが、来年以降の★3対応への最も確実な準備**になります。

Column

何もしないと、どうなる？ 3つのリスク

「うちはまだいいや」と思っていると、こんなリスクが現実になります。

① 取引を失うリスク

SCS評価制度の開始後、発注者は受注者に★の取得を取引条件にできます。★を持っていない場合は、既存の取引が継続できなくなる可能性があります。

② 信用が「見える化」されるリスク

★を取得した企業は公開される予定です。逆に言えば、★を持っていないこと自体が、取引先や市場から見えてしまうということ。「セキュリティに取り組んでいない会社」というレッテルは、企業の信用に直結します。

③ 補助金が使えなくなるリスク

デジタル化・AI導入補助金をはじめ、SECURITY ACTIONの自己宣言が申請要件となっている補助金が増えています。宣言していなければ、そもそも申請すらできないケースがあります。

6. 中小企業が今年やるべきこと ～ 4つのステップ～

最後に、明日からの実務に落とし込んだアクションプランです。

STEP 01 SECURITY ACTIONの制度を理解する

本リーフレットやIPAの公式サイトで、★1・★2の内容を確認しましょう。

SECURITY ACTIONとは？

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/sa/>



STEP 02 GビズIDを取得・確認する

2026年4月以降、自己宣言にはGビズIDプライムが必須です。まだの方は早めに取得を。

GビズID

<https://gbiz-id.go.jp/>



STEP 03 ★一つ星を宣言し、★★二つ星を目指す

まず★一つ星を宣言。そして「5分でできる!情報セキュリティ自社診断」と「情報セキュリティ基本方針」の策定を進めて、★★二つ星へステップアップしましょう。

SECURITY ACTIONの申込方法

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/entry/>



STEP 04 来年度末のSCS評価制度に備える

★3の要求事項や支援パッケージ(サイバーセキュリティお助け隊サービスなど)の情報を集め、★3取得に向けた準備を始めましょう。

ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260327001/20260327001.html>



●SECURITY ACTION自己宣言のお申し込みの手順

① 取組目標を決める

一つ星 or 二つ星のどちらを宣言するかを決めてください。

② GビズIDを取得(未取得の場合)

GビズIDwお取得してください。既に取得済みであれば⑤へ。

③ 申込みフォームに入力

SECURITY ACTION管理システムからお申し込みください。

④ 申込手続き完了メールの受信

申込完了直後に、自己宣言IDとロゴマーク使用方法をお知らせするメールが届きます。

⑤ ロゴマークの使用(任意)

ロゴマークがダウンロードして、ホームページなどに使えます。

②～⑤は最短1日で実施可能!

【注意1】②GビズID取得から⑤ロゴマークの使用まで、最短1日で実施が可能です。システムメンテナンス等で利用できない期間などもございます。余裕を持って手続きを進めていただくようお願いします。

【注意2】申込手続き完了メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダや受信拒否の設定をご確認ください。万一受信できない場合は、SECURITY ACTION管理システムにGビズIDでログイン後、表示されるマイページをご確認ください。マイページに自己宣言IDが表示されていれば、自己宣言の申込手続きは完了しています。

【出典】IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

最後に、整理します!

セキュリティ対策でビジネスを守り、加速させる3つのポイント



今すぐ始められる

SECURITY ACTIONの★1・★2は、費用ゼロ・今日から宣言可能。

取引と信用を守る

来年の新制度では★が「見える化」される。備えない企業は選ばれなくなる。

投資として回収できる

補助金活用、取引継続、信頼獲得。セキュリティは「守り」ではなく「攻め」の経営基盤。

参考サイト

【IPA SECURITY ACTION】<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>
 【経済産業省 SCS評価制度】<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260327001/20260327001.html>
 【GビズID】<https://gbiz-id.go.jp/>

参考文献・注記: 本資料は2026年4月時点の公開情報を基に作成されています。制度の詳細や最新情報については、IPA・経済産業省の公式サイトをご確認ください。

SECURITY ACTION
セキュリティ
対策自己宣言



当社がしっかりご提案、導入サポートいたします!

まっ っと
当社にご相談ください!

